

実施回	第1回	実施日		時限		班	
授業計画	クリティカルケア看護とは ① クリティカルケアとはなにかを説明できる。 ② クリティカルケア看護の場の特徴を説明できる。 ③ クリティカルケアを必要とする患者と家族の特徴を説明できる。	予習	教科書①の第1章を通読する				
		復習	授業ノートの整理				
		キーワード	クリティカルケア、ケアとキュア、集中治療室、重症度、緊急度、CNS-FACE II				
授業形態	講義	担当	吉越				

実施回	第2回	実施日		時限		班	
授業計画	クリティカルケア看護とチーム医療 ① クリティカルケアにおけるチーム医療の特徴と看護師の役割について説明できる。 ② クリティカルケア看護における倫理的課題について説明できる。	予習	教科書①の第2章を通読する				
		復習	授業内容の振り返りとノートの整理				
		キーワード	集中治療室、医療安全、患者の権利と擁護、脳死、臓器移植				
授業形態	講義	担当	吉越				

実施回	第3回	実施日		時限		班	
授業計画	クリティカルケア看護(1)急性心筋梗塞事例 ① 心筋梗塞の病態と検査・内科的治療が説明できる。 ② 事例の状態をアセスメントし、今、必要な観察と援助を考慮することができる。	予習	心臓の解剖生理、病態と治療論Ⅲで学習した虚血性心疾患の内容。教科書②の第2章、第3章A、第4章B・C①②、第5章A・Bを通読する。				
		復習	授業ノートの整理				
		キーワード	心電図、心臓マーカー、抗血小板薬、血栓溶解療法、経皮的冠状動脈インターベンション(PCI)、不整脈、冠動脈攣縮、心不全				
授業形態	講義	担当	吉越				

実施回	第4回	実施日		時限		班	
授業計画	クリティカルケア看護(1)急性心筋梗塞事例 ① 心筋梗塞の病態と検査・内科的治療が説明できる。 ② 事例の状態をアセスメントし、今、必要な観察と援助を考慮することができる。	予習	心臓の解剖生理、病態と治療論Ⅲで学習した虚血性心疾患の内容。教科書②の第2章、第3章A、第4章B・C①②、第5章A・Bを通読する。				
		復習	授業ノートの整理				
		キーワード	心電図、心臓マーカー、抗血小板薬、血栓溶解療法、経皮的冠状動脈インターベンション(PCI)、不整脈、冠動脈攣縮、心不全				
授業形態	講義	担当	吉越				

実施回	第5回	実施日		時限		班	A班
授業計画	クリティカルケア看護(1)演習 ① 患者の状態に応じた観察と援助が実施できる。	予習	提示した課題に取り組む				
		復習	演習後の課題に取り組む				
		キーワード	臨床判断、看護実践力、思考発話				
授業形態	演習	担当	○吉越、渡邊、藤倉、五百部				

実施回	第6回	実施日		時限		班	A班
授業計画	クリティカルケア看護(1)演習 ① 患者の状態に応じた観察と援助が実施できる。	予習	提示した課題に取り組む				
		復習	演習後の課題に取り組む				
		キーワード	臨床判断、看護実践力、思考発話				
授業形態	演習	担当	○吉越、渡邊、藤倉、五百部				

実施回	第7回	実施日	時限	班
授業計画	クリティカルケア看護(1)急性心筋梗塞事例 ① 再発防止に向けた支援について説明できる。	予習	教科書②の第6章E①②を通読する	
		復習	授業ノートの整理	
		キーワード	冠危険因子、生活習慣の改善、服薬のアドヒアランス	
授業形態	講義	担当	吉越	

実施回	第8回	実施日	時限	班
授業計画	クリティカルケア看護(2)救急看護 ① 救急看護の考え方と看護師の役割が説明できる。 ② 急変時における初期対応とトリアージについて説明できる。 ③ 心肺蘇生法と一次救命処置の方法が説明できる。	予習	病態と治療論Ⅱで学習した救急処置法。教科書①の第4章Bを通読する。	
		復習	授業ノートの整理	
		キーワード	救急看護、トリアージ、一次救命処置(BLS)、救急カート	
授業形態	講義	担当	外部講師	

実施回	第9回	実施日	時限	班
授業計画	クリティカルケア看護(2)演習 ① 医療用BLSアルゴリズムに即した一次救命処置が実施できる。	予習	8回目の授業内容	
		復習	授業ノートの整理	
		キーワード	胸骨圧迫、AED	
授業形態	演習	担当	○外部講師, 吉越, 渡邊, 藤倉, 五百部	

実施回	第10回	実施日	時限	班
授業計画	クリティカルケア看護(3)くも膜下出血事例 ① くも膜下出血の病態と治療が説明できる。 ② 事例の状態をアセスメントし、今、必要な観察と援助を考慮することができる。	予習	病態と治療論Ⅳで学習した脳血管障害について。教科書①の第3章D、教科書③の第5章A-①-①、第6章D-①を通読する。	
		復習	授業ノートの整理	
		キーワード	脳動脈瘤、頭蓋内圧亢進症状、意識障害の評価(JCS、GCS)、神経学的所見、脳血管攣縮、脳血管内治療、開頭手術、脳浮腫、正常圧水頭症、社会復帰に向けた支援	
授業形態	講義	担当	渡邊	

実施回	第11回	実施日	時限	班
授業計画	クリティカルケア看護(3)くも膜下出血事例 ① くも膜下出血の病態と治療が説明できる。 ② 事例の状態をアセスメントし、今、必要な観察と援助を考慮することができる。	予習	病態と治療論Ⅳで学習した脳血管障害について。教科書①の第3章D、教科書③の第5章A-①-①、第6章D-①を通読する。	
		復習	授業ノートの整理	
		キーワード	脳動脈瘤、頭蓋内圧亢進症状、意識障害の評価(JCS、GCS)、神経学的所見、脳血管攣縮、脳血管内治療、開頭手術、脳浮腫、正常圧水頭症、社会復帰に向けた支援	
授業形態	講義	担当	渡邊	

実施回	第12回	実施日	時限	班
授業計画	クリティカルケア看護(3)演習 ① 患者の状態に応じた観察と援助が実施できる。	予習	提示した課題に取り組む	
		復習	演習後の課題に取り組む	
		キーワード	臨床判断、看護実践力、思考発話	
授業形態	演習	担当	○渡邊, 吉越, 藤倉, 五百部	

実施回	第13回	実施日		時限		班	A班
授業計画	クリティカルケア看護(3)演習 ① 患者の状態に応じた観察と援助が実施できる。	予習	提示した課題に取り組む				
		復習	演習後の課題に取り組む				
		キーワード	臨床判断、看護実践力、思考発話				
授業形態	演習	担当	〇渡邊, 吉越, 藤倉, 五百部				

実施回	第14回	実施日		時限		班	
授業計画	クリティカルケア看護(3)くも膜下出血事例 ① 社会復帰に向けた支援について説明できる。	予習	教科書①の第4章Hを通読する。				
		復習	授業ノートの整理				
		キーワード	正常圧水頭症、社会復帰に向けた支援				
授業形態	講義	担当	渡邊				

実施回	第15回	実施日		時限		班	
授業計画	クリティカルケア看護(4)感染症予防 ① クリティカルな状態にある患者に対する感染症予防策について説明できる。	予習					
		復習	授業ノートの整理				
		キーワード	CAUTI予防策、CRBSI予防策、VAP予防策、スキンケア、口腔ケア				
授業形態	講義	担当	吉越				